



特集

# 安全安心な産地づくりへ 小麦



## 経験生かし、誇れるブルーベリーを

今月の  
表紙

ふじむら 藤村 かずき 和輝さん(28)

6月下旬、初夏の爽やかな風が吹きわたる園地で、太陽の光を浴び、青紫色に染まった完熟のブルーベリーの収穫作業を進める、盛岡市手代森の藤村和輝さん。先祖代々続く「藤与果樹園」の4代目として3年前に就農し、両親・祖父母とともにブルーベリーとリンゴ、米の栽培に励んでいます。

J A管内のブルーベリーは7月中旬に出荷のピークを迎えますが、その収穫期間はわずか1カ月。この短い収穫期間で、収量を確保するために大切なのが、春に行う剪定作業です。ブルーベリーの健全な育成のため、

め、日当たりや風通しの良さ、必要な養分を均等に行き渡らせることを考慮しながら枝を整理することが、重要になります。また、ブルーベリーは収穫期になると1日で未熟果から適熟果に変わるほど、生長の早い果実。タイミンングを見極めた適期収穫でロスを減らすことが、品質の維持や収量確保には欠かせません。

収穫して選果、バック詰めと、収穫期は早朝から時には夜遅くまで作業をこなしている藤村家。和輝さんは「この1カ月は毎日が闘い」と苦勞を話しながらも「1年の作業



『食農立国』とは、JAいわて中央管内で生産される農畜産物や地域のブランド化を目指した商標登録名です。JAいわて中央が目指す『食農立国』には、食を囲む人たちと、農業を営む人たちとの繋がりを大切に、『その食卓の向こうに安全・安心で美味しい農畜産物と美しい農村の風景を提供し続けたい』という思いが込められています。

収穫したブルーベリーは大きさがごとに分別した後、扇風機で果実を乾かし、傷の有無などを一粒ずつ入念にチェックしながら、選果します



「岩手のブルーベリーの魅力を広めたい」と話す和輝さん。藤与果樹園ではブルーベリーやリンゴを自家直売所やホームページを通じて販売しながら、消費者との交流やSNSでの情報発信にも力を入れています

Instagram /



つる元まで濃い青紫色に色づく、収穫のタイミング。細かい傷が品質低下の原因にもつながるため、一粒ずつ指で優しく収穫していきます

## 目次

## CONTENTS

未来へつなぐ食農立国 .....	2
藤村和輝さん(盛岡市)	
特集 .....	4
安全安心な産地づくりへ 小麦	
NewsFile .....	8
1年かけて育てた「もち姫」を収穫！ もち小麦消費者交流会 他	
営農情報 .....	10
幼穂形成期から出穂期の管理について 他	
女性部レポート .....	12
食べてみて！おらほのイチオシ	
まちのスマイル .....	13
サン・フレッシュ都南さ おでつてくなんせ！	
インフォメーション .....	14
お盆用花束販売会のお知らせ 他	
今月のレシピ .....	16
初夏の野菜のペペロンチーノ	

が実になる瞬間。一粒は小さいけれど、カゴいっぱい採れたブルーベリーを見ると、達成感がありますね」と笑顔をのぞかせます。

幼い頃から自然が好きで、将来は家業を継ぐことを思い描いてきた和輝さん。進学した東京農業大学では、農産物の鮮度保持に関する研究に取り組み、卒業後は食品メーカーに就職し、営業の仕事を通じて商売知識を深めるなど、幅広く経験を積んできています。「色々な地域から集まっ

た同期と話をしたり、スーパーで買い物しながら首都圏の消費の動きを見ることができたりと、全てが新鮮で勉強になることが多かったです」と振り返る和輝さんは、地元を離れて得た経験を、今の農業に活かしています。

今後について「高齢化や後継者不足、コストの増加など課題が多い中で、農業の存続には従来の方法を見直していくことが必要だと感じます」と話す和輝さん。栽培技術の向上に取り組みながら「農業

経営や販売方法など、上手なやり方を模索しながら、おいしい農産物をお客様に届けていきたいです」と続けて力を込めます。

「子どもたちに農業に触れてもらう機会を作りたい」と、今後の夢を語る和輝さんは、「岩手では農業が身近ですが、そうでない地域も多い。いち生産者としてできることがあれば、収穫体験や出前授業といったことにも挑戦していきたいです」と、広く将来を見据えています。



JAいわて中央のホームページでは、広報誌のバックナンバーを公開しています。  
詳しくはこちら▶

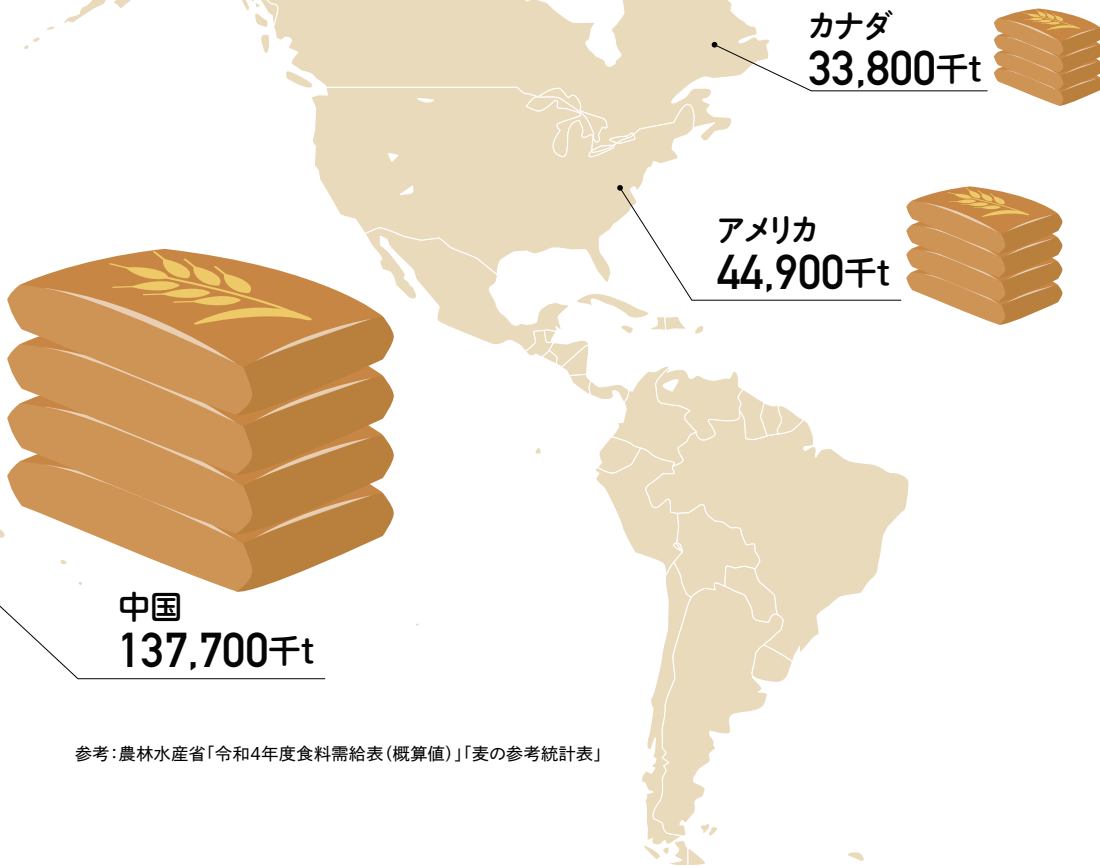


特集

# 安全安心な産地づくりへ

# 小麦

## 世界の主要な小麦産地と日本



参考：農林水産省「令和4年度食料需給表(概算値)」 「麦の参考統計表」

麦秋を迎え、管内では6月20日から小麦の刈り取りが始まりました。管内では、高品質で安全安心な小麦を生産・販売するために、JAと生産者が一体となった様々な取り組みを進めています。

今月の特集では、国産小麦にまつわる動向や、管内産の小麦に関する取り組み、生産者・実需者の声をご紹介します

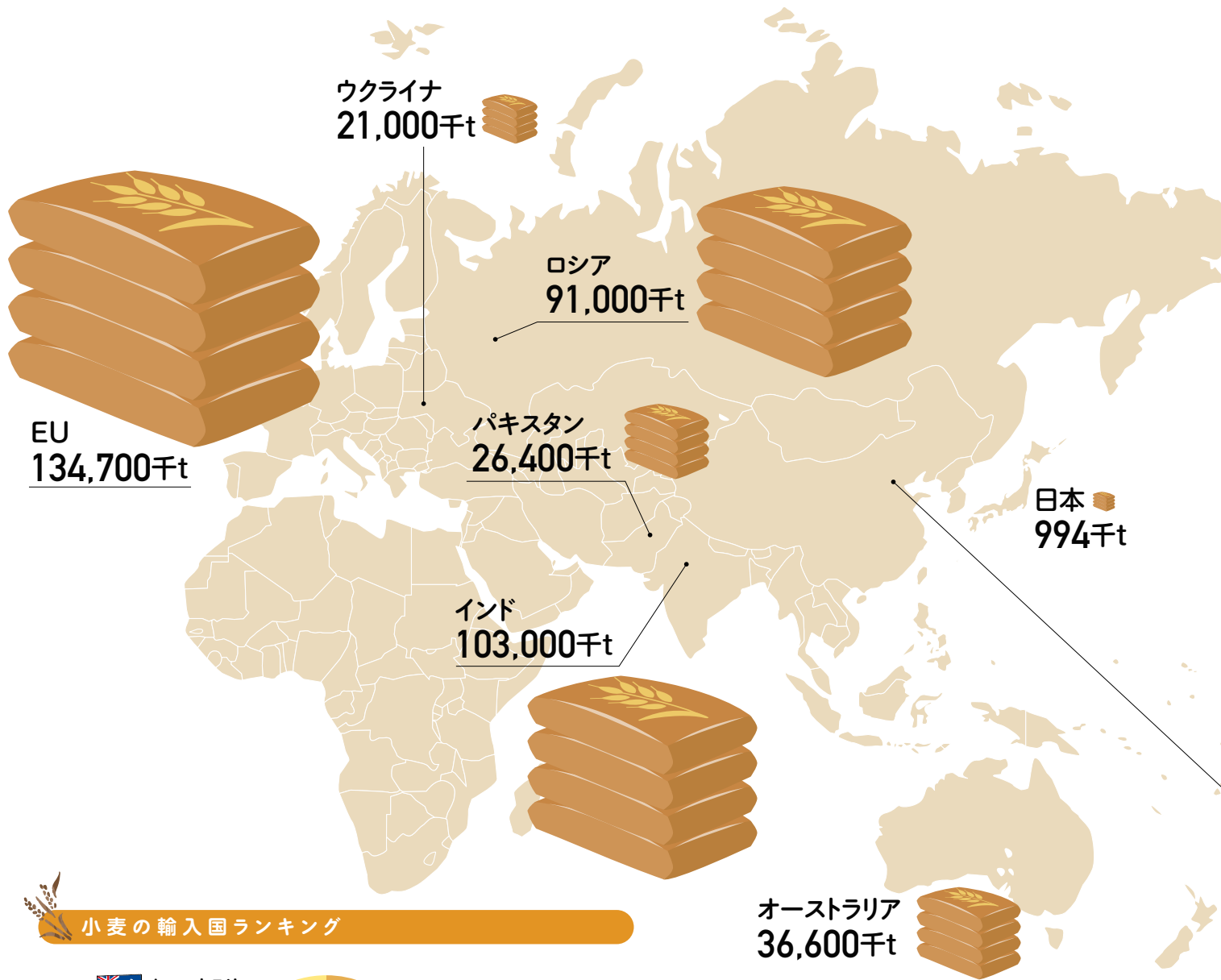
### 世界の小麦生産量と

### 「国産小麦」の動向

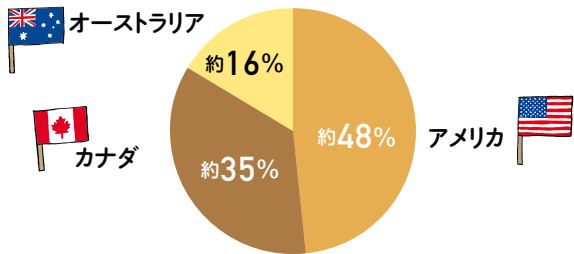
米、トウモロコシと並ぶ「世界三大穀物」の一つに称される、小麦。人々の主食となるパンや麺類などの原料として、世界中で広く生産・消費されている非常に重要な穀物です。

令和4年度の日本の小麦の自給率は約16%と8〜9割以上を輸入に頼っているものの、作付面積・収穫量は増加傾向にあります。

背景として、優良な品種の開発や栽培技術の改良などにより、実需者が求める品質に見合った小麦の生産が実現しつつあることから、輸入小麦から国産小麦へ切



### 小麦の輸入国ランキング



### ●輸入小麦と国産小麦の割合



参考:「令和6年度 麦の需給に関する見通し」(平成30年~令和4年の平均)

り替える機運が高まっていることにあります。さらに、近年ではウクライナ情勢や円安、自然災害などの影響により、食料・貿易事情は大きく左右され、輸入小麦の供給不安や価格高騰への懸念、消費者の国産志向の強まりなど、国産小麦へ一層の注目が集まっています。

現在、日本で消費されている小麦粉のおよそ9割はアメリカやカナダ、オーストラリアなど、海外から輸入した小麦で作られており、日本は世界でも有数の小麦輸入国です。

依然として世界の人口増加は続き、食料需要も増加し続けている一方で、食料安全保障上のリスクの高まりや地球環境問題への対応など、日本の農業を取り巻く情勢が大きく変化しています。特に、小麦や大豆などをはじめとする多くの品目を輸入に依存している日本では、将来的な食料生産・供給に大きな不安を抱えています。

今後、日本は輸入に依存している農産物の国内生産の拡大に注力し、食料の安定供給を維持すべく、「国産国産」を推進し、食料安全保障に取り組んでいく必要があります。

# 小麦の生産・出荷の取り組み

JAや小麦生産部会では、安全・安心な小麦を届けるため、播種から収穫、出荷までに適期作業や検査などを実施し、品質管理の徹底を図っています。

10月  
月上旬

播種



出芽率を高め、十分な生育量を確保するため、適期播種の徹底に取り組んでいます。

10月  
下旬



播種から20日前後で発芽し、冬期間には積雪下で休眠し、越冬します(根雪期間)。融雪後は、追肥や麦踏み、水路の整備などを行います。

12月下旬  
～  
3月上旬



## 生産者の声



### JA小麦生産部会 菅原 覚 部会長

今年産の小麦は、播種時期の天候に恵まれたことから適期に作業が進み、生育期の雑草害も少なく、生育はおおむね順調です。今年小麦は品質も良く、収量も確保することができました。

小麦生産部会では、定期的な栽培指導会の開催や赤カビ病の適期防除を呼び掛けるなど、安全安心な小麦を生産するべく、品質向上に取り組んできました。

今後も生産者が手を掛けて育てた小麦を実需者・消費者に届けていきたいと思っています。



6月  
下旬



収 穫

出穂・開花



5月上旬  
～  
5月下旬



Point

小麦の収穫適期幅は短く、収穫期は降雨の多い梅雨時期のため、JAや生産部会では、圃場巡回による収穫適期の予測や作業計画の策定で、適期収穫の徹底に取り組んでいます。

集 荷



Point



厚生労働省が定める検査方法に準じ、生産者から搬入された小麦から採取されたサンプルを用いて、赤カビ病検査(DON検査)を実施しています。その他、農産物検査や成分分析検査、残留農薬検査などの検査基準をクリアした小麦だけが出荷されます。

Point



出穂後には、赤カビ病対策として防除を全ての品種で適期に2回以上行っています。また、収量確保や品質向上のための追肥を実施しています。

## 実需者の声



府金製粉株式会社 府金 慶 代表取締役

JAいわて中央は新しい品種にも意欲的に取り組んでおり、特に、もち小麦「もち姫」の取り組みにおいては、生産者さんと連携した取り組みがよく見える産地だと感じています。現在、当社で販売している「もち姫」は全量がJAいわて中央から出荷されたもので、販売先からも品質の良さが評価されており、出荷量も伸びてきています。

生産者の皆さまには、これからも品質の良い小麦の出荷を期待しております。また、消費者の皆さんに安心して食を楽しんでいただけるよう、今後も継続的な供給をお願いします。



黄金色に輝く小麦畑で収穫を喜ぶ参加者ら



## 1年かけて育てた「もち姫」を収穫！ もち小麦消費者交流会

YouTube



JAや白石食品工業(株)、府金製粉(株)は6月29日、JA本所南側の体験圃場で今期5回目のもち小麦消費者交流会を開催し、親子8組25人が参加しました。

参加者は、昨年10月に播種し、麦踏みや追肥などの作業体験を通じて栽培してきた小麦を、生産者に教わりながら収穫作業を行い、足踏み脱穀機での脱穀作業体験や「もち姫」食パンの試食などを行いました。参加者は「収穫までの生育を観察しながら、一連の作業を体験できとても良い経験になった」と振り返りました。



## 海の幸と美しい海景色で交流 JA婚活バスツアー

JAは6月15日、コロナ禍を経て5年ぶりとなる婚活イベント「婚活バスツアー～宮古で瓶ドン!～」を開き、JA青年部や組合員家族の男性と県内在住の女性、計15人が参加しました。

参加者はバスで宮古市内を巡り名物の「瓶ドン」を味わった後、浄土ヶ浜遊覧船「宮古うみねこ丸」に乗船し交流を深め、3組のカップルが誕生しました。参加した女性は「話しやすい人が多く、たくさん交流できた。おいしい食事もあり楽しい一日だった」と笑顔を見せました。



遊覧船で会話を楽しむ参加者ら



栽培管理のポイントを聞く参加者ら



## 品質統一の徹底を ミニトマト出荷規格目揃い会

JAは6月12日、管内2会場でミニトマトの栽培指導会・出荷規格目揃い会を開き、定植後の栽培管理や病害虫防除、出荷規格について説明しました。

盛岡市上飯岡で開いた目揃い会には、生産者やJA担当者ら約40人が参加し、初期生育に関わる追肥やかん水、換気などの栽培管理のポイントを確認。JA担当者はサンプルなど使って選別基準を示しながら、「出荷時は傷果や変形果が混入しないよう、注意して選果してほしい」と品質管理の徹底を呼び掛けました。



・ SDGsへの  
・ 取り組み

SDGsとは、2015年に国連193の加盟国で採択され、環境問題や社会問題などを解決し、2030年までに「持続可能な世界を実現する」ための世界共通の17の目標です。JAいわて中央では事業活動や行事などを通じてSDGsの実践に取り組んでいます。



園地を見学する参加者ら



栽培技術向上へ意見交わす

2024ブルーベリーinいわて

日本ブルーベリー協会主催の第23回全国産地シンポジウム「2024ブルーベリーinいわて」が6月28日、29日の2日間、盛岡市内で開かれ、生産者を中心に県内外から約200人が参加しました。本県での全国産地シンポジウムの開催は平成14年以来、22年ぶり2度目です。

28日に盛岡市内で行われた基調講演やポスターセッションでは、ブルーベリーの栽培や経営について意見交換。29日には、約140人の参加者が盛岡市黒川の北田健さんの園地や遠野市青笹町の園地を見学しました。



歌と踊りで大盛況！

J A女性部レディースセミナー

J A女性部は6月15日、紫波支所で「レディースセミナー～Beginning～」を開き、同部員168人が参加しました。

「唄と踊りの！バラエティーショー」と題して行われた公演では、秋田県出身の民謡歌手山上衛さんをはじめとする演者が、民謡や舞踊、津軽三味線の演奏や歌謡曲などを披露。公演中には、山上さんの師匠である民謡タレントの中川あい子さんがサプライズで登場し歌声を響かせるなど、参加者はオリジナルのハンカチを振りながら、終始笑顔で公演を楽しみました。



民謡や踊りで会場は盛り上がりました



来店者に「銀河のしずく」を手渡す職員



「銀河のしずく」味わって

ご来店感謝デーを合同で開催

J Aは6月20日、日頃の感謝を込め、各拠点の支所・営農センター・グリーンセンターで「ご来店感謝デー」を開催しました。各店舗では、県産ブランド米「銀河のしずく」合計1,110個を先着で配布しました。

盛岡支所でお米を受け取った来店者は「普段は違う品種のお米を食べているので、いただくのが楽しみ」と笑顔を見せ、盛岡地域拠点の佐藤勝統括は「笑顔と真心で組合員に寄り添い、今後もJ Aをより身近に感じていただけるような、支所運営に務めていきたい」と話しました。

## 米穀

### 幼穂形成期から 出穂期の管理について

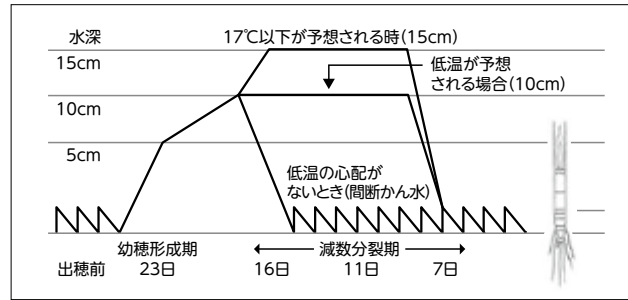
今月の担当  
紫波地域営農センター  
副調査役 畠山 友輝  
米穀課



7月は水稲が穂を作り始める大事な時期です。生育に応じて、適切な水管理と追肥を行います。

**1. 幼穂形成期の水管理**  
幼穂形成期（出穂25日前）は、常時4～6cmの水管理を行い、低温時に深水管理をできるようにしましょう。

**2. 減数分裂期の水管理**  
減数分裂期（出穂15日前）の水管理は、間断かん水を行います。この時期に17℃以下の低温にあたりと花粉が作られず不稔粒の発生が心配されるため、低温が予想される場合は、15cm以上の深水管理を行い、幼穂を保護しましょう。【図1】



【図1】幼穂形成期～減数分裂期の水管理

**3. 追肥（穂肥）**  
この時期の追肥は「穂肥」といい、穂の籾を充実させることを目的として行います。追肥は、うるち品種は幼穂形成期に行い、もち品種は減数分裂期に行います。

追肥は、葉色や生育を確認して行いますが、葉色が濃い、または異常低温が続く場合は施肥量を減らすか時期を遅らせましょう。【表1】

品種名	穂首分化期 ～35日	幼穂形成期 ～25日	減数分裂期 ～15日	幼穂形成期の葉色基準	
				カラースケール	SPAD葉色計
ひとめぼれ	×	◎	○	4.0～5.0	35～40
銀河のしずく	◎	○	×	4.7～5.4	36～43
ヒメノモチ	○	×	◎	4.8～5.4	39～43

【表1】追肥の時期と葉色の目安 ◎:最重要 ○:生育状況を考慮して判断 ×:不適

#### 4. 穂いもち病対策

田植え時にうるち品種で施用した箱施用剤の効果は、7月中旬から低下します。うるち品種には、穂いもち病予防として「ゴウケツ剤」を使用します。葉色が濃い、または過繁茂している、堆肥を多く施用した圃場や前年に穂いもち病が発生した圃場は、穂いもち病が発生しやすいため必ず防除を行います。

#### 5. カメムシ防除

斑点米カメムシ被害の軽減には、地域での一斉草刈りが効果的です。また、カメムシは水田内のヒエやホタルイなどの雑草を好みますので、水田内に侵入させないためにも水田内の雑草を除去しましょう。

#### 6. 出穂期の水管理

出穂期は稲が最も水を必要とする時期です。この時期は水を切らさないように3～4cmの湛水管理を行います。

しよう。また、出穂期以降は間断かん水を行い、下葉の枯れ上がりを防ぎながら登熟を促しましょう。



参加者募集 令和6年度 農作業安全講習会

第2回 「草刈り機械を安全に使おう！」

内 容 草刈り機械の基本操作と事故のない安全作業（座学）  
草刈り作業の基本操作・噴霧器説明（実演・実習）

日 時 令和6年7月30日（火）13時30分～15時30分  
【受付】13時～

場 所 JA全農いわて「純情産地営農支援センター」  
（矢巾町流通センター南二丁目5-2）

定 員 20名（先着順）

※定員に達し次第、募集を締切とさせていただきます

申込期限 令和6年7月24日（水）

お申し込み・お問い合わせ 営農販売部担い手対策課 ☎676-3428 FAX672-1595（受付時間：平日8時30分～17時）



共同購入 第3弾

生産者&JA  
共同購入コンバイン  
絶賛発売中!!

稲作生産者の皆さまの声を反映した共同購入コンバインは、令和5年12月の発表以降、多くのお問い合わせ・購入のご相談をいただいております。おかげさまでこの5カ月で200台を超える注文をいただきました。

これからも、JAグループは一体となって、生産者の皆様への共同購入コンバイン提案活動に取り組み、生産資材コスト低減に繋がっていきます。ご注文は令和9年5月までの受付となりますが、この秋の収穫作業に向けたご購入を検討されている生産者の皆さまにおかれましては、お早めに最寄りのJA農機センターまでご相談ください。

型式 YH448AEJU  
メーカー希望小売価格  
670万円（税抜）

4条刈り  
51.5馬力  
(グロス)  
48.4馬力  
(ネット)

JAグループ / 全農

JAグループは生産者の需要を取りまとめ、一括発注を行うことで、メーカーは製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元します。

お問い合わせ

紫波農機センター ☎673-7585  
矢巾農機センター ☎697-3133

主な機能

- 車体水平制御  
機体が左右に傾いても水平に保つ
- 常時駆動方式（FDS）  
湿田作業でもなめらかな旋回と安定した直進ができる
- 自動こぎ深さ制御
- オーガ自動制御（旋回・収納）
- 刈取オートクラッチ
- 掻きこみペダル
- 手こぎ安全装置
- オートデセル（エンジン回転自動制御）
- 無給油で概ね1日作業（おおよそ6時間を想定）がおこなえる燃料タンク（43ℓ）

PR動画はこちら



子牛市場情報（令和6年6月12日・中央家畜市場）

地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比	地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比		
雌	紫波	11	582,000	251,000	375,091	281	-34,442	去勢	紫波	28	611,000	331,000	495,321	324	-37,064
	矢巾	12	477,000	292,000	385,833	287	17,708		矢巾	8	611,000	368,000	477,625	316	-53,575
	盛岡	8	504,000	300,000	402,250	292	-14,250		盛岡	10	487,000	385,000	443,200	310	-59,800
	JA計	31	582,000	251,000	386,258	286	-15,348		JA計	46	611,000	331,000	480,913	319	-48,647
	市場計	127	857,000	206,000	382,370	283	-27,245		市場計	202	802,000	240,000	502,010	323	-30,120

女性部レポート  
JA Ladies  
Female department Report

未使用タオル728枚を  
岩手ホスピスの会へ寄付



同会では、作成ボランティアらと協力しながら、年間約8,000個のタオル帽子を全国のがん治療拠点病院などへ提供しています

JA女性部は6月17日、抗がん剤治療の副作用に悩む患者に向けたタオル帽子の製作に取り組む盛岡市の市民団体「岩手ホスピスの会」に各地域の部員から募った未使用タオル728枚を寄付し、同部を代表して戸塚幸子部長と鎌田都美子副部長が同団体の伊藤ヨシ子副代表らに手渡しました。

伊藤副代表は「タオル帽子が患者さまの手元に届くまでの全ての過程には『誰かのために』という祈りや願いがある。そうした愛のバトンタッチが、患者さまの励ましになると思う」と話し、戸塚部長は「部員の皆さんの協力で今年も寄付ができた。今後も地道に継続して取り組んでいきたい」と話しました。

部員  
募集中!

【女性部・フレッシュ部加入のご相談・お問い合わせ】  
紫波地域 ☎676-3342 矢巾地域 ☎697-6211  
盛岡地域 ☎656-3700

— 牡蠣とワイン、県産食材が生み出す  
岩手ならではの「コラボ商品」 —

おすすめは  
**おつまみオイスター**

内容量90g  
各1,890円(税込)

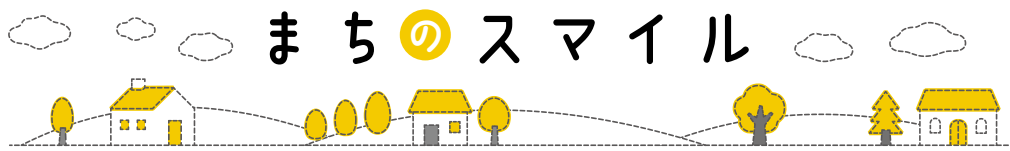
紫波町産ブドウでワインの醸造を手掛ける(株)紫波フルーツパークと、岩手町で海産物加工品の製造・販売を行う(有)早野商店が初タッグを組んで開発した新商品「おつまみオイスター」。原料には宮古湾産の大ぶりな牡蠣と、紫波フルーツパークが醸造する「自園自醸ワイン」の赤・白それぞれのワインを使用し、牡蠣をワインで一度蒸した後、さらに煮込むことで、ワインの香りと牡蠣の旨味が溢れる一品に。また、それぞれの持ち味を引き出すため、赤ワイン煮はしょうゆを加えより濃厚な味わいに、白ワイン煮にはハーブやバターを使用してさっぱりとした味わいに仕上げています。同商品は、両社の店舗や道の駅紫波で購入が可能です。



(株)紫波フルーツパーク  
×  
(有)早野商店

〈販売場所〉  
紫波フルーツパーク  
〒028-3535  
紫波町遠山字松原1番地11  
TEL: 019-676-5301  
【営業時間】9:00～17:00





なかよし  
ファミリー



盛岡市・向中野 藤村亮さん・友美さんのお宅

ふじむら せいら                      そうま                      ひまり  
藤村聖来ちゃん(12) 蒼馬くん(10) 陽葵ちゃん(8)

所属するバスケットボールチームでは、ガードのポジションで、持ち前の冷静な判断力を発揮している聖来ちゃん。サッカーの練習に日々汗を流す蒼馬くんは「パン屋さんになって、家族に自慢のパンを食べてほしい」と将来に夢を膨らませます。お姉ちゃんと共にバスケットボールに熱中する陽葵ちゃんは、体操など他のスポーツも万能にこなす、藤村家期待のスポーツ少女です。

撮影を見守ったご両親は「将来の夢に向かい、それぞれがんばってほしいです」と期待を込めています。



矢巾支所 金融課渉外

まつお                      ひとみ  
松尾 一美さん(令和5年入組)

4月から金融渉外を担当し、今は顔と名前を覚えてもらえるようマメに地域を歩き、幅広い世代の方との交流を大事にしています。最近は地域の皆さんから声を掛けていただく機会が増え、とても嬉しいです。また、幼い頃から自然や動物とふれあうことが好きなので、訪問先でかわいい動物たちに出会うことも密かな楽しみになっています。

今後は年金や融資などの商品知識を身につけてより良いご提案につなげるとともに、親しみのある職員となれるよう経験を積んでいきたいです。



今月は お盆セール

サン・フレッシュ都南では8月10日から13日までの4日間、お盆セールを開催します。生産者が栽培した新鮮で種類豊富な切り花を中心に、野菜や果物、お盆用品を各種取り揃えます。

また、本格的な夏が到来し、店内では色鮮やかな夏野菜が多く並んでいます。栄養豊富な夏野菜は夏バテ予防にもピッタリですので、ぜひ当店で新鮮な夏野菜をお買い求めください。



高橋店長

「品質」と「持ちの良さ」が自慢の当店の切り花！ぜひご利用ください

イベント情報

- お盆セール  
8月10日(土)～  
13日(火)  
※期間中は朝7時より  
開店となります

サン・フレッシュ都南

住所 〒020-0853 盛岡市下飯岡 21-180  
TEL 637-6801  
営業時間 9:00～18:00



# CROSSWORD クロスワード

二重マスの文字をA～Eの順に  
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクロスワードの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、「JAやサン・フレッシュ都南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月のテーマ

涼しく過ごす工夫

応募締切

7月26日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20  
JAいわて中央

＼コチラから／

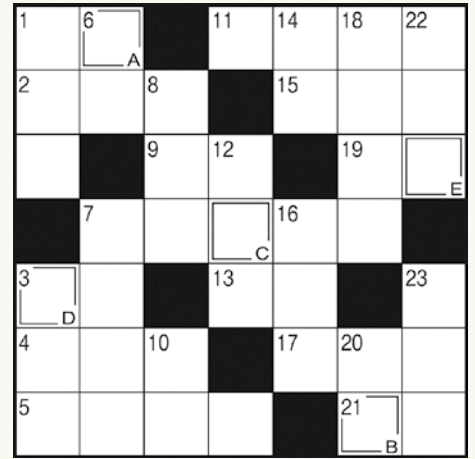
「JAんぷ7月号お楽しみクイズ」係

ホームページ

広報誌プレゼント応募フォーム ▶

E-mail

kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp



※ご記入いただいた個人情報は、おたよりコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

→  
ヨ  
コ  
の  
カ  
ギ

- ①七夕の短冊を付ける植物
- ②鳥が羽ばたかせるもの
- ③東北地方で牛のこと
- ④だしじゃことも呼ばれます
- ⑤ひ孫の子どもです
- ⑦ロンドンの——空港は英国最大の国際空港です
- ⑨ポンポンと地面で突いて遊びます
- ⑪高校球児が試合をするときに履きます
- ⑬ピザにあるものは傾いていることで有名です
- ⑮シャンプーの後で使う人もいます
- ⑰侍が腰に差していたもの
- ⑲——ふり構わずがむしやらに取り組んだ
- ⑳漢字などに付ける小さな文字

↓  
タ  
テ  
の  
カ  
ギ

- ①小説を書く人をこう呼ぶことも
- ③貼り合わせて合板を作ります
- ⑥アジやイワシと並んでよく食べられる青魚
- ⑦天の川を渡って織り姫に会いに行きます
- ⑧春がスプリングなら夏は
- ⑩目で見える範囲のこと
- ⑫手首のこと。——バンド
- ⑭2024年の夏季五輪が行われる都市
- ⑯渡り——を通過して隣の校舎へ行った
- ⑱アウターの反対語
- ⑳ウイスキーはこの中で熟成します
- ㉑病気の治療や予防に使われます
- ㉒打ち上げ——、線香——



## おたより紹介 テーマ▶ スポーツ



運動音痴な私は、スポーツが得意ではありません。しかし、高校野球、相撲のTV観戦が大好きです！どの高校が甲子園へ行くのか、毎回ハラハラドキドキしながら見て、相撲も誰が優勝するのか楽しみながら行方を見守っています。スポーツ観戦最高！

(山岸・I/41歳)

パリオリンピックや夏の高校野球、大相撲夏場所など、盛り上がりに注目です。(埼玉・T/53歳)

夏の風物詩になっている高校野球観戦が楽しみです。試合内容のほかに、勝っては喜び、負けては涙を流す。これからの人生に役立つはずです。(清水町・I/76歳)

後期高齢者にとって「シルバーリハビリ体操」は十分に若い人のスポーツの領域に入ります。それと頂上を目指さない登山かな。

(又兵衛新田・H/76歳)

オリンピックまであと1ヵ月。フランス・パリへ行く夢を見ました！オリンピック、1度でいいから近くで応援したいですね！一生懸命スポーツをしている人はステキです！

(津志田南・S/65歳)

老人になれば、スポーツには縁遠くなります。年数回のJA年金友の会のグラウンドゴルフ大会に顔を出し、久しぶりに会う知人と交流を深めると、心も体もスッキリと癒されます。(桜町・S/85歳)

### 理事会報告

6月定例理事会が6月26日、紫波支所で開かれた。次の事案について決議されました。

#### 【決議事項】

- 1 令和6年度不良債権処理方針
- 2 不良債権最終処理
- 3 令和6年度補助事業実施計画
- 4 2024ディスクロージャー誌の発行
- 5 理事専門委員会規程の一部変更
- 6 理事専門委員会委員の選任
- 7 不祥事再発防止策の取組状況(令和6年5月)

## 役員手帳



### JAいわて中央の代表 としての新たな決意

代表理事組合長  
佐々木 雅博

去る5月30日に開催されました第25回通常総代会におきまして、すべての提出議案が原案のとおり決議されました。改めて組合員の皆様方に感謝を申し上げます。また、総代会終了後の臨時理事会におきまして、代表理事組合長に選任され、責任の重さを感じております。

現在、食料安全保障が議論される中で、今国会で25年ぶりに「食料・農業・農村基本法」の改正が可決されました。具体的な政策についてはこれからの実施計画となりますが、今こそ国の責任で予算を確保し、政策を実行しなければ、日本農業の存続はないと思っています。JAグループが一丸となって運動展開してまいります。

当JAでは今年、第8次中期3ヵ年計画の最終年度となります。社会情勢が大きく変容するなか、10年後の農業ビジョンをしっかりと描き、次期中期計画を策定してまいります。役職員一丸となって農協運営にあたってまいり決意でありますので、組合員の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# INFORMATION

## JA花き生産部会花束専門委員会

### お盆用花束販売会のお知らせ

**日時** 令和6年8月8日(木)～11日(日)  
8時30分～17時

**会場** グリーンセンター紫波  
グリーンセンター矢巾

季節の花を織り交ぜた、  
生産者手作りのお盆用花束を販売します。  
お墓参りやお仏壇用に、ぜひご利用ください。

※各日数量限定販売のため、品切れとなる場合がございます。あらかじめご了承ください。



## 参加者募集中!

### ちゃぐりん親子工作教室

今回は「牛乳パックで作るピョンピョンガエル」と  
「紙飛行機」作りに挑戦します!

**日時** 令和6年8月3日(土)9時～

**会場** 紫波地域営農センター会議室

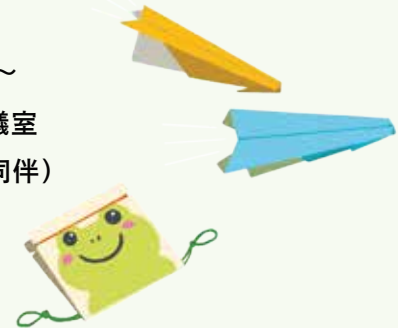
**対象者** JA管内の小学生(保護者同伴)

**定員** 10家族

**参加費** 500円/1家族

**申込締切** 令和6年7月25日(木)

**お申し込み・お問い合わせ** 生活推進部生活推進課 ☎673-7468



温度の高い  
時期には  
羽アリに注意!



スズメバチ・ネズミ・コウモリなど  
**害虫や害獣でお困りの方  
無料で調査致します!**

※家屋内の調査に限ります

全農・農協取引業者 大塚薬品工業(株)

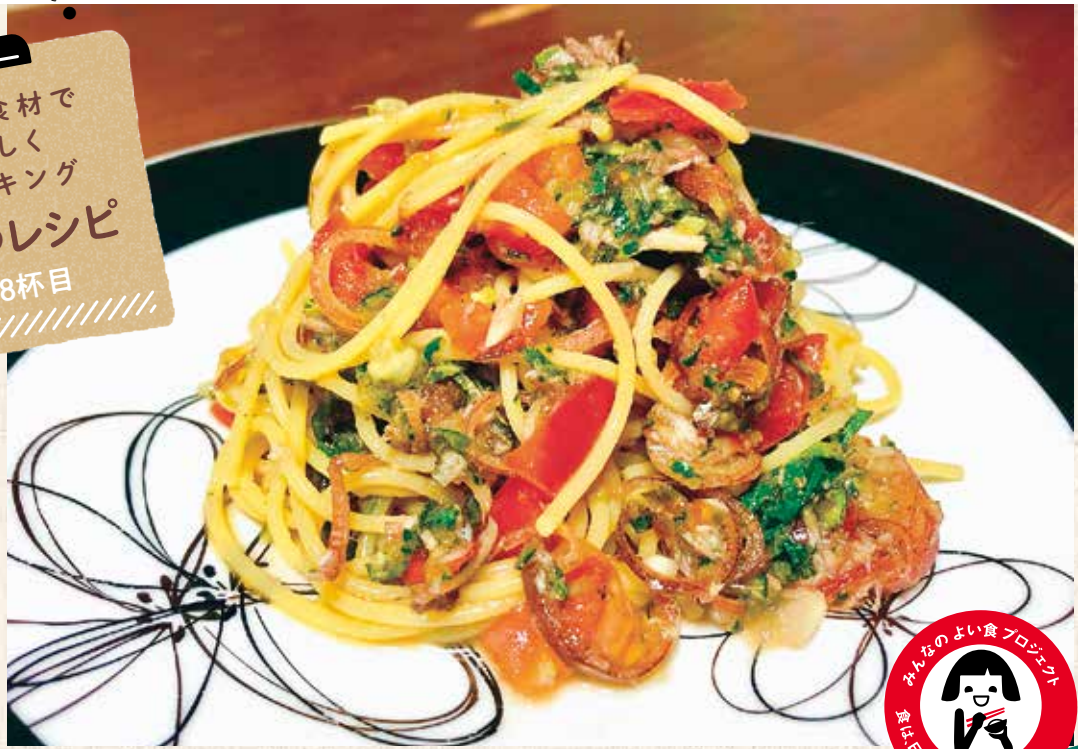
ご相談は、お近くの  
生活推進課へ

紫波地域営農センター ☎676-3342  
矢巾地域営農センター ☎697-6211  
盛岡地域営農センター ☎638-0011  
サブセンター盛岡 ☎656-3700

まずは  
点検!

This month's recipe.

新鮮食材で  
楽しく  
クッキング  
今月のレシピ  
158杯目



## 初夏の野菜のペペロンチーノ

### 材料(2人分)

- スパゲティ(1.6mm) …… 100g
- ニンニク(みじん切り) …… 1片
- アンチョビフィレ …… 1枚
- タカノツメ …… 1本
- オリーブ油 …… 大さじ2
- 【あえ衣】
- キュウリ(すりおろし) …… 1本
- トマト(1cm角切り) …… 1個
- ミョウガ(輪切り) …… 2個
- 大葉(千切り) …… 10枚
- ナンプラー …… 小さじ2
- レモン汁 …… 小さじ2
- 塩・こしょう …… 適宜

### 作り方

- ① フライパンにオリーブ油、ニンニク、アンチョビフィレ、タカノツメを入れ、弱火で5分ほど温め、タカノツメを取り出す
- ② 鍋に1ℓの湯を沸かし、塩13g(分量外)を加えてスパゲティをゆで、ゆで時間の1分前にあげる(ゆで汁は取っておく)
- ③ ①のフライパンにゆで上がったスパゲティを入れ、ゆで汁を大さじ3ほど加え、中火にかけ、ゆで汁を吸わせておく
- ④ ボウルに合わせたあえ衣と③のスパゲティを入れて混ぜ合わせ、皿に盛り付け塩・こしょうを振って出来上がり

## 編集後記



渡邊

おらほのイチオシでご紹介した「おつまみオイスター」。県産のワインと牡蠣のコラボは、農業も漁業も盛んな「岩手だからこそ」開発できた一品です。開発秘話を担当者の方に伺うと、商談会での出会いから今回の商品化につながったのだとか。今後もこのようなつながりを通じた商品が、世に生まれることを期待したいです！



小野寺

昨今の世界情勢の影響もあり、食料安全保障が一層注目されるようになりました。今後は特集でお伝えした「小麦」のように、国産の農産物への関心が広がっていくことを期待しています。そして、農業や食にまつわる問題を生産者と消費者が一緒に考えていけるよう、JAとしての役割を発揮し、広く発信していきたいと思ひます。

最新の情報は  
SNSやHPを  
ご覧ください



@ja\_iwatechuoh



@ja.iwatechuoh



@ja\_iwatechuoh

